

maiko
violin

西嶋 徹
contrabass

会田桃子
violin

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 10月23日(土)

開場 17:30

開演 18:00

(2ステージ入替無)(1drink=600円~)

MC=3700円+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



maiko

神戸市出身。3歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。1999年4月、上京。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏のライブに通いつめ、アドバイスを頂きながらジャズバイオリンの研さんを始める。1999年12月、第19回浅草Jazzコンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001年10月、横浜ジャズプロムナード、ライブコンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。そのリリカルでハートフルなプレイは、わが国ポピュラーバイオリンの第一人者中西俊博氏も絶賛。2001年からの8年間で、2,000回を超えるライブパフォーマンスを行い、自己のスタイルを確立する。2009年9月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。ビバップ、スウィング、ECM、フュージョン、ラテンと幅広いジャンルにおいて、音色の美しさと熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。スタジオやCM、イベント・パーティ等での演奏、学校公演、病院・施設でのボランティア演奏等、表現者としてさまざまなシチュエーションでのパフォーマンスを精力的に行う。また、自身が阪神・淡路大震災を被災した経験から、気仙沼や陸前高田等、被災地へボランティア演奏に赴いている。

西嶋 徹

1973年 東京生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め、高校の時にベースを始める。ジャズ、アルゼンチンタンゴを軸に、幅広い音楽性で様々なジャンルのアーティストをサポートしている。これまでに、Jazztronik、Pablo Ziegler、綾戸智恵、ウィリアムス浩子、小野リサ、カルメン・マキ、木住野佳子、喜多直毅、小松亮太、葉加瀬太郎、長谷川きよし、藤本一馬、古澤巖、ワザプロ、等のレコーディングやコンサートをサポート。現在、Cuatrocientos、三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月 Quinteto、大柴拓 Ensemble para Frores、吉田篤貴 EMOstrings、などのグループに参加。2014年、ピアニスト林正樹と共に、アルバム「El retratador」をリリース。2018年、ソロアルバム「Phenomenology」をリリース。2019年より自己の弦楽カルテットを主宰している。

会田桃子

3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業。日本を代表するアルゼンチンタンゴ奏者の一人で、ジャズ、ポップス、など幅広い音楽シーンでもソロバイオリニストとして活躍中。また歌手、作編曲家としても活動しており、アーティストへの楽曲提供も多数している。自身のバンドで毎年恒例となっている韓国ソウルでの2000人規模の大ホール公演は、毎年Sold Outの人気を誇る。2017年アルゼンチン大統領来日歓迎晩餐会に日亜文化交流に貢献した功績を認められ招待された。2019年1月ミュージカル「Great Comet of 1812」にミュージシャンキャストとして出演。2020年8月女優渡辺えり主催「女々しき力プロジェクト序章」3作品の劇中音楽、劇中歌の作曲及び演奏を担当した。